

日赤ふくおか

No.
75

平成31年2月発行

TOPICS

- 支部創設130周年記念大会および福岡県日赤紹締会第59回総会を開催
- ふくおかの赤十字NEWS
- 青少年赤十字のリーダーを養成！リーダーシップ・トレーニング・センター
- We Are ボランティアー学生奉仕団 -
- 支部創設130周年記念チャリティコンサート～森山良子 with 九州交響楽団～を開催します



炊出し「ホット ホッと 非常食」

～災害時に、温かくおいしい食事でホッと安らぐひと時を～



大川市と中間市の赤十字奉仕団が、「赤十字移動式かまど」を使用して炊出しを行いました。

大川市赤十字奉仕団は9月に開催された大川市総合防災訓練で、参加者に120食のみそ汁を、中間市赤十字奉仕団は10月に開催された筑前中間やっちゃん祭りで、来場者に200食の豚汁を提供しました。

災害が起った時、長く続く避難所生活における温かい食事の提供は、被災者の方々の心にホッと安らぎを与えてくれます。いざという時の備えとして、地域のみなさんで炊出しを体験してみてはいかがでしょうか。

活動資金にご協力をお願いします。

日本赤十字社福岡県支部

検索

福岡県支部創設 130周年記念赤十字大会 および 福岡県日赤紹綏会第59回総会を開催



11月21日(水)、大塚義治副社長、福岡県支部長である小川洋福岡県知事出席のもと、紹綏会員および赤十字関係者など約600人が出席し、創設130周年記念赤十字大会および福岡県日赤紹綏会第59回総会を開催しました。

周年記念大会では、長年にわたり赤十字事業にご支援、ご協力をいただいている方々に対して有功章の授与や感謝状の贈呈を行いました。

大会の最後には青少年赤十字加盟校を代表し、大和青藍高等学校の宮城めぐみさんが、人道を追求する赤十字の不变と今後の事業発展への決意を述べた大会宣言を行いました。

福岡県日赤紹綏会第59回総会では、同紹綏会の田中優次会長（西部瓦斯株式会社 代表取締役会長）からあいさつの後、資金面から多大な協力をいただいている方々の功績を称え、感謝状の贈呈を行いました。

式典終了後には、公益財団法人笹川記念保健協力財団 喜多 悅子 会長（日本赤十字九州国際看護大学名誉学長）を講師に招聘し、「日本の近代化と赤十字 - 佐野常民の目指したこと、私たちが忘れていること -」をテーマに記念講演を開催しました。参加者らは熱心に耳を傾けていました。

福岡県日赤紹綏会は昭和34年に全国初の日赤紹綏会として、当時の小倉市（現在の北九州市小倉北区）で発足しました。これは他の支部に大きな影響を与え、現在では全国の支部において紹授・有功会が結成されています。



福岡県日赤紹綏会第59回総会で表彰された皆さま

(五十音順・敬称略)

金色有功章

【個人】19名

岩井健一	上田 訓	才田善之
三船國弘	清水勇人	田坂ユキ子
谷口祐介	刀根 登	野上 勉
日野彰宏	廣瀬智昭	藤野かほる
古澤智久	松田洋一	松本義明
武藤佐和子	山下利典	吉竹晴美
和田ヤス子		
【法人】4社		
株式会社サクラ技建		
株式会社玉置		
株式会社ライト		
三友機器株式会社		



【法人】9社（団体）

医療法人村田クリニック
岡城産業株式会社
株式会社タカミヤ
株式会社ゆう美
北原ウエルテック
九州遊技機商業協同組合
宗教法人根本山宝満堂
有限会社カトー創美
有限会社フレッシュフルーツメイト

紹綏褒章

【個人】1名

飯田時生

銀色有功章

【個人】5名

相間政博	神谷英晃	田渕 久
鶴 穆	松田達弘	



【法人】2社

株式会社フェアロード	
ナーグ合同会社（チーム梅野）	



社長感謝状

【個人】13名

赤司 實	小笠原毅	鎌田迪貞
米谷志奈英	竹田茂記	西山陽子
久光良夫	平方利義	福岡義輔
村田純治	森川 满	山口政明
山地直樹		



厚生労働大臣感謝状

【個人】3名

村田純治 山口政明 山地直樹

【法人】1社（団体）
株式会社ブレーンコスモス

新会員斡旋功労者に対する紹綏会長感謝状

【個人】8名

北原明彦 濵田繁晴 清水弘康
高宮俊諦 古海 博 村田規子
山地正樹 吉竹征夫



大塚副社長 あいさつ（一部抜粋）

日本赤十字社は、明治10年、ここ九州の地において、博愛社の名のもとに活動を開始し、昨年140周年を迎えたが、そのわずか11年後、福岡県支部が「日本赤十字福岡委員部」として誕生いたしました。

以来、激動する社会の中で、さまざまな試練に遭遇しながらも、個人・法人の会員、赤十字奉仕団、青少年赤十字、そして赤十字有功会など、多くの方々に支えられて赤十字の諸活動が力強く推進されてまいりました。これも、ご参会の皆さまはもとより、多くの赤十字関係者による時代を超えてのご努力、ご支援の賜物であり、深く敬意と感謝の意を表するものでございます。





ふくおかの赤十字 News



特別養護老人ホーム3施設で秋祭りが開催されました

10月13日(土)には特別養護老人ホーム豊寿園(北九州市門司区)と特別養護老人ホーム大寿園(福岡市西区)、27日(土)には特別養護老人ホームやすらぎの郷(糟屋郡志免町)において秋祭りが開催されました。

各施設のステージでは、地域の方々による踊りや和太鼓の披露、近隣中学校の吹奏楽部による演奏が行われ、

多くの来場者でにぎわいを見せっていました。

開催にあたっては毎年、各施設で活動している赤十字ボランティアの皆さんにもご協力いただきています。ご来場およびご協力いただいた皆さまありがとうございました。



福岡マラソン2018で臨時救護を実施

11月11日(日)に開催された「福岡マラソン2018」で臨時救護を実施しました。

当日は爽やかな秋晴れとなり、14,000人以上のランナーが福岡市から糸島市を駆け抜けました。

本県支部は、九州大学伊都キャンパスとゴール後に休憩などを行うランナーエリアの2カ所に臨時救護所を設置。脱水や嘔吐などの気分不良のほか、こむら返りや転倒による擦過傷などで救護所を訪れたランナー計59人の救護を行いました。幸い、命に関わるケガや急病はありませんでしたが、当日は日中の気温が高かったためか、脱水とみられる症状を訴える多数ランナーが救護所を訪れました。

慣れない距離を走る際には、ケガや急病を防ぐため、日頃からの体づくりとスタート前の準備運動をしっかりと行い、本番に臨みましょう！



川口 真由美看護師（福岡赤十字病院） バングラデシュ派遣から帰国

平成30年7月10日～10月15日まで、バングラデシュ南部避難民保健医療支援のため、バングラデシュ共和国へ派遣されていた福岡赤十字病院の川口 真由美看護師が帰国しました。

川口看護師は、避難民キャンプに設置されたクリニックに、診療部門の責任者兼看護師長として着任。クリニックを運営するためのコストの見直しから医療資機材の管理、現地スタッフのスキルアップのための勉強会の企画まで幅広い業務に従事しました。

川口看護師は、「避難民キャンプでは相変わらず厳しい状況が続いています。無関心は人道の最大の敵。皆さんもバングラデシュ南部避難民の状況に关心を持っていただき、継続的な支援をお願いします」と述べました。



NHK海外たすけあいキャンペーン ～ご協力ありがとうございました～

12月1日(土)～25日(火)まで、「NHK海外たすけあい」キャンペーンを実施しました。

1日(土)にはNHK福岡放送局で、3日(月)にはNHK北九州放送局でオープニングセレモニーが開催され、近隣の幼稚園・保育園の園児たちから、手作りの募金箱が職員へ手渡されました。また、JR博多駅および吉塚駅、西鉄大橋駅で街頭キャンペーンを実施し、チラシなど約2,500セットを配布しました。

皆さまから届けられた救援金は、世界で紛争や自然災害で苦しむ人々への人道支援に使われます。





青少年赤十字活動紹介コーナー

青少年赤十字のリーダーを養成! リーダーシップ・トレーニング・センター



平成30年8月7日(火)～9日(木)の3日間、国立夜須高原青少年自然の家で青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター（トレセン）を開催しました。

トレセンは、赤十字の人道の精神に基づく自主・自立の精神を身につけ、赤十字や青少年赤十字の知識・技術などを集中して学習することで、「気づき」「考え」「実行する」態度を育て、学校や地域において、青少年赤十字のリーダーとして活動する児童・生徒の養成を目的に毎年開催しています。今年は、青少年赤十字加盟校22校から85名のメンバーが参加しました。

トレセンでは、引率スタッフが参加者に直接指示をすることはありません。これは、自主・自立の精神を身につけるためです。必要な連絡はすべて掲示板で行うため、常に注意深く情報を収集する必要があります。また、指示がないため、参加者自身が気づいたことを自ら積極的に行動に移さなければ、トレセンは成り立ちません。

3日間で学んだ自主・自立の精神、注意深く情報を収集し、自ら行動する生活が、「気づき」「考え」「実行する」態度につながり、参加したメンバーが今後、青少年赤十字のリーダーとして活躍することを期待しています。



We Are ボランティア

こんにちは! 学生奉仕団です

福岡県内では、日本赤十字九州国際看護大学の学生からなる学生奉仕団が活動しています。今回はその活動の一部をご紹介します。



登山中のケガに備えて

登山中の思いがけないケガの応急処置に役立ててもらおうと、12月1日(土)、宝満山（筑紫野市、太宰府市）のキャンプセンターに設置している医薬品箱に、滅菌ガーゼ、包帯、三角巾などの医薬品を補充しました。

この医薬品箱は、以前活動をしていた福岡県青年奉仕団が県内の数カ所に設置したもので、現在は学生奉仕団が活動を引き継いでいます。

福岡県内では、宝満山の他に若杉山（奥の院手前の自動販売機横）、福智山（避難小屋荒宿荘の入口付近）、油山（管理センター入口付近）にも医薬品箱を設置していますので、必要になった時にはご利用ください。



自動販売機横）、福智山（避難小屋荒宿荘の入口付近）、油山（管理センター入口付近）にも医薬品箱を設置していますので、必要になった時にはご利用ください。

患者さんと、クリスマスソングと一緒に♪

入院中の患者さんにクリスマスの雰囲気とやすらぎを感じていただこうと、12月20日(木)、福岡赤十字病院で学生奉仕団7名がキャンドルサービスを行いました。

やわらかな光を灯したキャンドルを手に病棟を歩きながら、アカペラで「きよしこのよる」や「ジングルベル」などのクリスマスの定番曲4曲を合唱しました。

参加した奉仕団のメンバーは、「うれしそうに一緒に口ずさんでくれた患者さんを見て、この活動に参加してよかったです」と思いました。子どもから大人まで、皆さんがクリスマスのわくわくする気持ちになってくれていたらうれしいです」と述べました。



はたちの献血キャンペーン 実施中！



1月1日(火)～2月28日(木)まで、はたちの献血キャンペーンを実施しています。

このキャンペーンは、献血者が減少する冬場にも、血液製剤を安定的に供給するため、新成人を迎えた「はたち」の若者を中心として、国民に広く献血に関する理解と協力を求めるとともに、献血の重要性を普及啓発することを目的に実施しています。

このキャンペーンを機に、ぜひ継続的な献血にご協力をお願いいたします。

オリジナル
グッズを
プレゼント

キャンペーン期間中に、献血にご協力いただいた10代、20代の方には、
先着で乃木坂46（キャンペーンキャラクター）のオリジナルグッズをプレゼント！

※期間中であっても、なくなり次第終了となりますのでご了承ください。

県内の献血ルーム

- 福岡市内 【おっしょい博多（博多パスターミナル8F）】
【キャナルシティ（キャナルシティ ビジネスセンタービル1F）】
【ハッピーコロス イムズ（イムズ8F）】
- 北九州市内 【魚町銀天街（魚町銀天街 白樺ビル）】
【くろさきクローバー（イオンタウン黒崎1F）】



献血バスの運行スケジュールは、福岡県赤十字血液センターホームページでご確認ください。

福岡県血液センター HP : <https://www.bs.jrc.or.jp/bc/9/fukuoka/>



支部創設130周年記念 国際救援チャリティコンサート ～バングラデシュ南部避難民支援～ 森山良子 with 九州交響楽団



森山良子



指揮：鈴木織衛

2018年12月17日をもって、本県支部は創設130周年を迎えました。これを記念し、国際救援チャリティコンサートを開催します。チケット代金の一部は、日本赤十字社、バングラデシュ赤新月社を通じ、避難民のための診療所の建設、医療機器や薬品、現地医療スタッフおよびボランティアの活動費などに充てられます。

【日時】平成31年2月20日（水）開場：18時 開演：19時

【会場】アクロス福岡 シンフォニーホール

チケット情報

【チケット料金】S席5,000円 A席3,000円 学生1,500円

【チケット販売・お問い合わせ】九響チケットサービス 092-823-0101

赤十字講習会

いのちと健康を守る知識と技術を、多くの皆さまへ



救急法

●基礎講習

教材費：1,500円 受講資格：満15歳以上
定員：30人

開催日	時間	会場	受付期間
3/18(月)	10:00～16:00	日本赤十字社福岡県支部	1/28(月)～3/1(金)

●救急員養成講習（2日間）

教材費：1,700円 受講資格：基礎講習修了者
定員：30人

開催日	時間	会場	受付期間
3/19(火)、 20(水)	9:00～17:00	日本赤十字社福岡県支部	1/28日(月)～3/1(金)



幼児安全法

●支援員養成講習（2日間）

教材費：1,800円 受講資格：満15歳以上
定員：20人

開催日	時間	会場	受付期間
3/15(金)、 16(土)	9:00～17:00	日本赤十字社福岡県支部	1/7(月)～2/22(金)



【お申し込み方法】

①ホームページから



②はがきで



③FAXで



【お問い合わせ・お申し込み】

〒815-8503 福岡市南区大楠3丁目1番1号
TEL: 092-523-1172 FAX: 092-521-2552
日本赤十字社福岡県支部 事業課 講習担当

発行元 日本赤十字社福岡県支部
〒815-8503 福岡市南区大楠3-1-1 TEL: 092-523-1171(代表) ホームページ: <http://www.fukuoka.jrc.or.jp/>

未来のために、いま備える。 防災・減災プロジェクト ～私たちは、忘れない。～

東日本大震災から、今年で8年。この8年の間に、日本各地では地震、大雨による大きな災害が多発しています。

今、私たちにできることは、「備える」こと。

福岡県支部では、災害時の支援活動や応急手当を中心に、災害時に役立つ知識と技術を学ぶことができる講習を開催します。ご家族、ご友人お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください！



私たちは、忘れない。
Forever remembered.

開催日	時間	会場	受付期間
3/11(月)	9:30～13:30	日本赤十字社福岡県支部	1/7(月)～2/15(金)

昨年の様子



炊飯袋の使い方



炊飯袋で炊いた「飯」と試食
非常食で（カレーライス）